

大学教育のデジタルイニシアティブ 推進委託事業

～公募説明会～

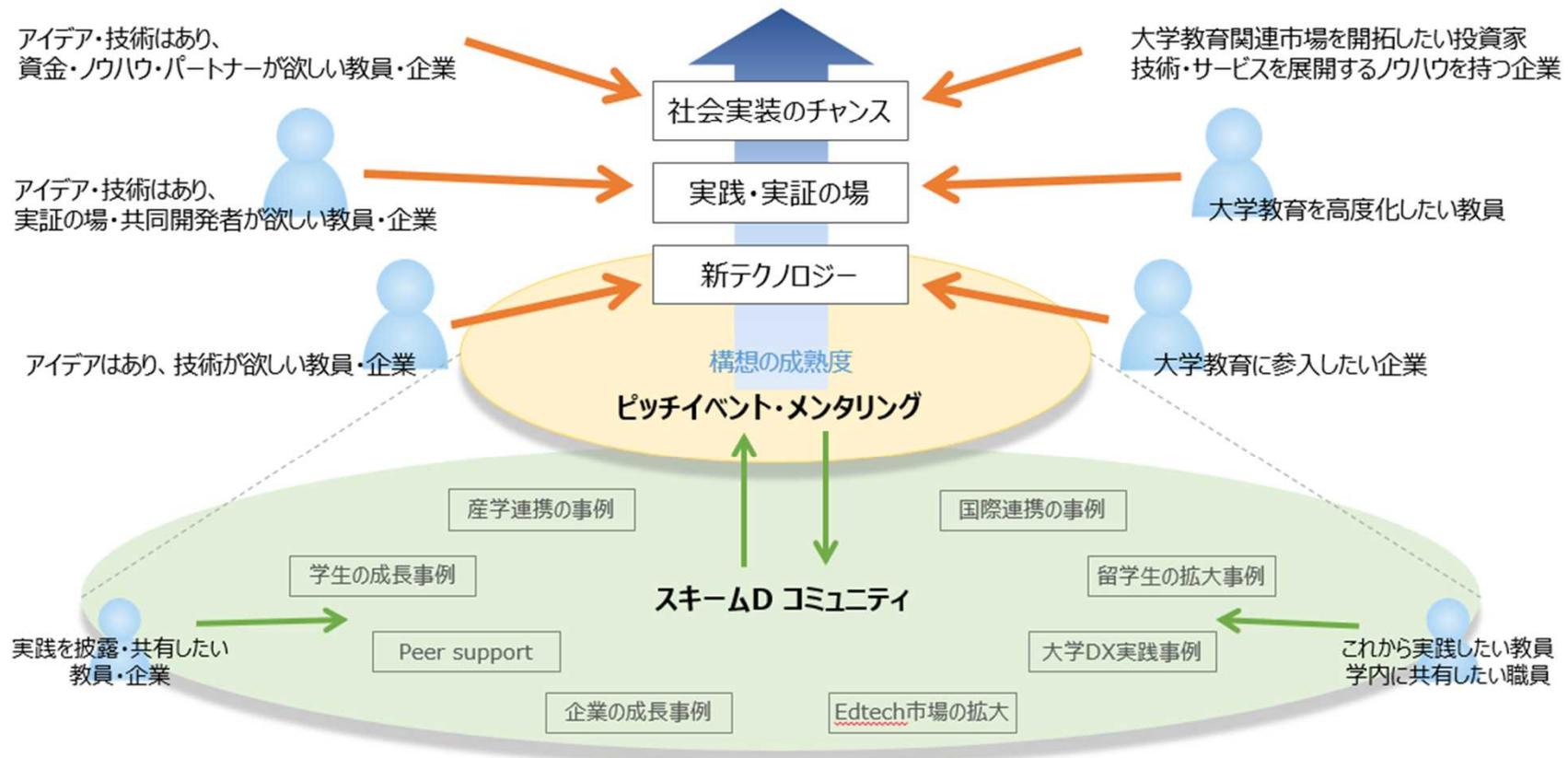
日時：令和3年4月28日（水）17時～18時

プロジェクト概要

Student-centered higher education ecosystem through Digitalization

- 学生中心の新しい学びを創造するデジタルイゼーション・プロジェクト
- ピッチイベントやコミュニティの形成を通じて、新たな大学教育に挑戦するイノベーターを応援するプロジェクト
- 企業や投資家に大学教育への参画を積極的に促すことで、社会全体で学生を育てるエコシステムを醸成するプロジェクト

スキームDが目指すもの



推進委託事業における事業内容

3. 事業の内容

① イベントの開催

- デジタル技術を活用した学生中心の新しい学びの創造に関心のある大学教員、企業（デジタル技術者）、投資家、学生等からアイデアを募集すること（ピッチイベントなどの開催を想定）。
- 上記のアイデアに関心がある者とマッチングをさせ、新たな大学教育に挑戦するイノベーターを支援するものであること。

- ◎ いわゆる「ピッチイベント」を想定。
- ◎ 大学教育に新しい価値をもたらすアイデアを募集。
- ◎ 公募の方針決定は文科省（運営委員会）が行うが、実施は受託機関にて行う。

② メンタリングの実施

- ①で募集したアイデアの内容に応じて、定期的なミーティングなどメンタリングを実施すること。
- 構想の習熟度、アイデアの内容に応じて対応が可能なメンターを配置すること。
- アイデアの実現に向けた工程表を作成すること。
- マッチングした取組の内容・進捗状況に応じて、アイデアを実証する仕組みを構築すること。
- 取組の進捗状況に応じて、有効性を検証するための支援を行うこと。

- ◎ 2月19日のイベントに向けた公募では、104件の応募。そのうち10件を「ピッチ・アクター」として選定しアイデアを発表。当日発表の機会がなかった方のアイデアも「ウェブ・アクター」としてスキームDウェブサイトに掲載。
- ◎ 上記の104件に加えて、令和3年度公募で応募があったアイデアへのメンタリングを行っていく。

③ ネットワーキング

- デジタル技術を活用した学生中心の新しい学びの創造に関心のある者が恒常的に集う場を設けること。
- 定期的にワークショップを開催すること。

- ◎ 応募者以外の本プロジェクトに関心がある者が参画できる場を想定。
- ◎ SNS等による繋がりを想定しているが、その他新たな構想があればご提案を。
- ◎ ワークショップは、ネットワーク参画者が定期的に意見交換を行い、アイデアをブラッシュアップしていくような機会と想定。公募に向けた熱量を上げていく場としての活用も。
- ◎ 会場に集まる形式でもオンライン形式でも可。

④ 広報

- 文部科学省で作成したウェブサイト（html版で提供）を管理し、必要に応じて更新すること。
- 本プロジェクト専用SNSアカウントを作成し、管理・運営を行うこと。
- その他、プロジェクトの認知度を測定し、高めるための取組を行うこと。

◎ <https://scheemd.mext.go.jp/>

- ◎ ウェブサイトには次の公募に向けて申請手続き等のフォーマットの組み込みが必要。
（公募は、前回同様300字程度のアイデアを申請いただく予定。※p12）
- ◎ その上で、情報発信、ネットワーク形成、マッチング等に活用可能な計画をご提案いただきたい。
- ◎ 先程のネットワーキングと関連しますが、そこでSNSを使用しない場合も、情報発信の観点でSNSアカウントの作成を。
- ◎ その他、デジタル技術を活用した大学教育（授業）改革の機運を醸成いという観点から、この取組の認知度をどのように測るか、またその認知を高めるための取組について、ご提案を。

[スキームD公式ウェブサイト https://scheemd.mext.go.jp/](https://scheemd.mext.go.jp/)



[TOP](#) | [コンセプト](#) | [配信動画視聴](#) | [アイデア一覧](#)



※「大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ（スキームD）ピッチ参画者の募集について」
【令和2年11月11日 文部科学省】

【対象となる方】

- デジタル技術を上手に活用して、大学教育の質・価値を高める意欲・アイデアをお持ちの教職員、企業、団体など（個人、チーム）
- アイデアの実現に向けたパートナーを求める方
- 公開のイベントでアイデアをピッチいただける方

【応募の要件】

提案するアイデアが、

- 大学の教育プログラム*で、学生の学びに作用し学修成果を高めるものであること
- 新たな技術、もしくは既存技術の新たな組み合わせや活用方法を提案していること
- 効果検証が可能で、横展開が見込まれること

* 教室での授業のみならず、キャンパス内外で行われる正規教育科目・科目群を指す

【応募方法】

以下の内容を、専用Webページ（<https://scheemd.mext.go.jp/apply.html>）より送信してください。



- 以下を端的に述べたアイデアの概要（300字程度）
 - どのような教育を実現したいのか
 - そのために今後どのような取組を行いたいのか
 - その実現に当たり今不足しているものは何か
- 参考URL、動画、画像などアイデアの詳細がわかる資料（既存資料でも可、20MB以内）

⑤ 委員会運営補助

- 文部科学省に設置する運営委員会の委員との連絡調整、資料作成、会場の設営等の運営補助を行うこと。

- ◎ 委員会は文科省に設置。委員は8名の予定。
- ◎ 委員会は公募1回に当たり、少なくとも①公募内容の決定、②ピッチ・アクターの選定、③ピッチイベント本番の計3回を想定。
- ※ ピッチイベント本番も委員会という整理。
- ◎ 委員会は原則オンラインで開催。
- ◎ 委員会開催により発生する委員への謝金・旅費については、弊省にて支出。

【留意点】

- A) スケジュールを十分に検討すること。
 - ◎ 5月中に契約が完了することを想定して、5月～3月までの計画を作成。
- B) 定量的な数値目標を設定すること。
 - ◎ プロジェクトの広がりを見測するために数値目標・測定方法を計画。申請時は仮の数値で設定。
- C) イベント・ワークショップ等の開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をしっかりととること。
- D) 本プロジェクトで取得した情報を、他の活動に利用しないこと。
- E) 再委託を行う場合は、内容について十分に検討すること。

公募スケジュール

4月21日（水） 公募開始

4月28日（水） 公募説明会（本日）

5月 7日（金） 17時 参加表明書提出締切（様式任意）

5月17日（月） 17時 企画提案書提出締切

様式に空欄がある場合は審査されない（不採択）ことがありますので、必ず全ての様式を作成の上、提出をお願いします。

提出方法

①企画提案書

- ・【別紙様式 1】申請書
- ・【別紙様式 2】構想調書
- ・【別紙様式 3】経費予定調書
- ・【別紙様式 4】体制等確認調書

②審査基準にある「ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価」の認定等を受けている場合はその写し

③誓約書 ※公募要領別添

(再委託がある場合は、再委託先も必要)

上記①～③をE-mail、郵送または持参により提出してください。

御清聴ありがとうございました

文部科学省高等教育局専門教育課
senmon@mext.go.jp